

<中国地域>

中国地域育種談話会報告

2017年11月25日(土)・26日(日)、広島大学東広島キャンパスにおいて、第9回中国地域育種談話会が広島大学の「次世代を救う 広大発 Green Revolution を創出する植物研究拠点」事業と共催で開催された。参加人数82名、特別講演1題、招待講演4題、口頭発表7題、ポスター発表32題であった。優秀発表賞は、白井一正(O-1)、笹井瑠美(O-6)、藤田貴文(O-7)、鳥居怜平(P-27)の4名に授与された。また、第10回中国地域育種談話会は、田中裕之先生を大会委員長として、鳥取大学農学部で開催されることになった。

【特別講演】「果樹ゲノムが紐解く植物性決定の多様性と一般性」

○赤木剛士¹⁾²⁾(¹⁾京都大院農学研究科、²⁾JST-さががけ)

【招待講演1】農研機構におけるブドウべと病抵抗性育種 ○河野淳(農研機構果樹茶業研究部門)

【招待講演2】高糖分・高消化性 WCS 用イネ品種の育成 ○中込弘二(農研機構 西日本農業研究センター)

【招待講演3】「アグロバクテリアが運ぶ DNA は T-DNA だけなのか? -バクテリアの接合システムから見えてきたもの-」○守口和基・井上万莉野・三宅純・垣内大志・奥田健斗・山本真司・清川一矢・鈴木克周(広島大院・理)

【招待講演4】ナトリウムはイネの生育促進に寄与するのか? ○上田晃弘(広島大生物圏)

【口頭発表1】栽培ダイコンの起源を探る ○白井一正¹⁾・石塚航²⁾・手塚あゆみ³⁾・豊田敦⁴⁾・藤山秋佐夫⁴⁾・清水みなみ⁵⁾・鈴木穰⁶⁾・彦坂幸毅⁷⁾・森長真一⁸⁾・花田耕介¹⁾⁵⁾(¹⁾九工大、²⁾道総研、³⁾龍谷大・農、⁴⁾遺伝研、⁵⁾理研 CSRS、⁶⁾東大・新領域、⁷⁾東北大・生命、⁸⁾日大・生物資源)

【口頭発表2】多重合成コムギ派生集団(MSD)を用いたリン欠乏耐性選抜 ○山崎裕司¹⁾・Yasir S. A. Gorafi¹⁾・Izzat S. A. Tahir²⁾・辻本壽¹⁾(¹⁾鳥取大学乾燥地研究センター²⁾スーダン農業研究機構)

【口頭発表3】二倍体種キクタニギクの自家和合性変異体を利用したキク属モデル系統の作出 ○中野道治・谷口研至・小塚俊明・草場信(広島大院・理)

【口頭発表4】大麦の品質関連要因の解析 -硝子粒とモチ性について- ○池田達哉¹⁾・大森誉紀²⁾・前島秀和³⁾(¹⁾農研機構、西日本農研、²⁾愛媛県農林水産研、³⁾長野県農試)

【口頭発表5】カンボジアにおけるメロン遺伝資源の収集及び農業形質の多様性評価 ○嶋田玄太郎¹⁾・田中克典²⁾・Sreynech Ouch³⁾・Sopheya Yon³⁾・Sophany Sakhan³⁾・杉山充啓⁴⁾・友岡憲彦⁵⁾・加藤鎌司¹⁾(¹⁾岡山大院環境生命、²⁾弘前大農生命、³⁾カンボジア農業研、⁴⁾農研機構野菜花き研究部門、⁵⁾農研機構遺伝資源セ)

【口頭発表6】サツマイモ(2n=6x=90)における高密度連鎖地図を用いたネコブセンチュウ抵抗性関連マーカーの開発 ○笹井瑠美¹⁾・田淵宏朗²⁾・岸本和樹¹⁾・白澤健太³⁾・岡田吉弘²⁾・藏本晃栄⁴⁾・小林晃²⁾・磯部祥子³⁾・田原誠¹⁾・門田有希¹⁾(¹⁾岡山大院環境生命科学、²⁾九沖農研、³⁾かずさDNA研究所、⁴⁾京都大院農学)

【口頭発表7】耐塩性植物ローズグラスの塩類腺からの塩排出特性 ○藤田貴文・宗廣理子・実岡寛文・上田晃弘(広島大生物圏)

【ポスター発表】

【P1】サツマイモ立枯病抵抗性選抜 DNA マーカーの開発 ○文屋慧亮¹⁾・相川祥胤¹⁾・白澤健太²⁾・岡田吉弘³⁾・謝花治⁴⁾・藏本晃

栄⁵⁾・今井佑美⁶⁾・磯部祥子²⁾・田原誠¹⁾・門田有希¹⁾(1)岡山大学院環境生命科学、2)かずさDNA研究所、3)九冲農研、4)沖縄農研、5)京大院農、6)鳥大技術部)

【P2】 Seed shriveling and chromosome rearrangement caused by gametocidal gene of *Aegilops speltoides*, Gc1a, introduced to bread wheat ○E. M. H. Babiker¹⁾, Y. Yamasaki²⁾, J.-S. Kim³⁾, Y. Gorafi²⁾, H. Tsujimoto²⁾ (1)Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University, 2)Arid Land Research Center, Tottori University, 3)RIKEN

【P3】 アワにおけるゲノムワイドインデルマーカーの作出、および連鎖地図の作成 諏訪汐梨¹⁾、阿部友里香¹⁾、新川雄基¹⁾、向成洋平¹⁾、中山雄介¹⁾、菅裕¹⁾、高木宏樹^{2),3)}、寺内良平^{2),4)}、○福永健二¹⁾ (1)県立広島大生命環境学、2)岩手生物工学研究センター、3)石川県立大学、4)京都大学農学研究科)

【P4】 レトロトランスポゾン挿入部位を利用したイチゴの品種判定マーカーの開発 ○船引健史¹⁾・石川涼子²⁾・進藤彰子¹⁾・門田有希¹⁾・田原誠¹⁾(1)岡山大学院環境生命科学、2)アヲハタ株式会社)

【P5】 Geographical distribution and origin of early-flowering alleles for novel earliness genes WPCL1 in wheat ○Gulam Kibria Md Numanul Haque¹⁾, Keiko Kiribe¹⁾, Hinako Sato¹⁾, Hidetaka Nishida¹⁾, Nobuyuki Mizuno²⁾, Masaya Fujita³⁾, Shuhei Nasuda²⁾, Kenji Kato¹⁾ (1) Grad. Sch. Environ. Life Sci., Okayama U., 2) Grad. Sch. Agr., Kyoto U., 3) NICS)

【P6】 オオムギの形質転換効率に関する遺伝学的解析 ○久野裕・宗森広美・元井由加・佐藤和広(岡山大学・植物研)

【P7】 アジアのパンコムギにおける変異 Wx タンパク質の発現解析 ○井上祥一・田上一保・田中悠・田中裕之(鳥取大農)

【P8】 寒地型芝草の SSR マーカーによる品種識別と分子系統樹 ○川野千穂・田中裕之(鳥取大農)

【P9】 GWASによるサツマイモ塊根の着色に関するゲノム領域の同定 ○木村拓海¹⁾・田中勝²⁾・磯部祥子³⁾・田原誠¹⁾・門田有希¹⁾(1)岡山大学院・環境生命科学、2)九冲農研、3)かずさDNA研究所)

【P10】 シロイヌナズナにおける CYP78A ファミリーの機能解析 ○小夫家雄二郎、上田浩晶、草場信(広島大・院・理)

【P11】 遺伝子欠損の影響により成長率を促進させる新奇短い遺伝子の同定 ○古賀日奈子¹⁾、武田智之¹⁾、金有王¹⁾、樋口美栄子²⁾、大林祝¹⁾、岡本昌憲³⁾、清水みなみ²⁾、吉積毅²⁾、中南健太郎²⁾、仁志蘭子²⁾、篠崎一雄²⁾、関原明²⁾、松井南²⁾、花田耕介¹⁾。²⁾(1九州工業大学、2理研・CSRS、3宇都宮大学)

【P12】 屋上緑化 *Phedimus* 属植物(常緑キリンソウ)の新品種開発に向けた種間雑種個体の作出 ○糺妙子^{1),2)}、藤田道明¹⁾、辻本壽³⁾(1. 株フジタ、2. 鳥取大学大学院連合農学研究科、3. 鳥取大学乾燥地研究センター)

【P13】植物ホルモン・ブラスノステロイド(BR)の伝達を阻害するペプチド“AT32”の受容機構の解明 ○近藤 隆之¹⁾、大林 祝¹⁾、岡本 昌憲²⁾、児玉 豊²⁾、吉積 毅³⁾、原口 武士⁴⁾、樋口 美栄子³⁾、清水 みなみ³⁾、野元 美佳⁵⁾、多田 安臣⁵⁾、軸丸 裕介⁶⁾、神谷 勇治³⁾、篠崎 一雄³⁾、桑田 啓子⁷⁾、日下部 宜宏⁸⁾、李 在萬⁸⁾、花田 耕介^{1),3)}(1)九州工業大学 情報工学部、2)宇都宮大学 バイオサイエンス教育研究センター、3)理化学研究所 環境資源科学研究センター、4)千葉大学 理学部、5)名古屋大学 遺伝子実験施設、6)アジレントテクノロジー、7)名古屋大学 トランスフォーメティブ生命分子研究所、8)九州大学 農学部)

【P14】 キクタンギクにおける頭状花序形成機構の解析 ○小塚俊明・白岩一平・中野道治・谷口研至・草場信(広島大・院・理)

【P15】 コムギにおける高温ストレス耐性機構の解明のためのメタボローム解析 ○松永幸子¹⁾、Itam M²⁾、Elbashil A. ²⁾、山崎裕司³⁾、妻鹿良亮³⁾、Gorafi Y. ³⁾、Tahil I. ⁴⁾、辻本壽³⁾(1)鳥取大・院・持続国際乾燥地、2)鳥取大・連大院・農、3)鳥取大・乾地研、4)スーダン農業研究機構)

【P16】 Studies on genetic variation of wheat-related species, *Aegilops tauschii*, to enhance wheat diversity ○Mazin M. M. Mahjoob^{1,3)}, Y. S. A. Gorafi^{1,3)}, Y. Yamasaki²⁾ and H. Tsujimoto²⁾, 1Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University, 2Arid Land Research Center, Tottori University, 3Agricultural Research Corporation (ARC), Sudan

【P17】 ツツジ雑種個体の花色における色素構成とフラボノイド水酸化関連遺伝子の影響 ○ミーナチャイピボン スニサ¹⁾・人見茉美²⁾・小林伸雄³⁾・中務明³⁾(1)鳥取大院連合農学研究科、2)鳥根大院生物資源研究科、3)鳥根大生物資源科学部)

【P18】Drought Response in Bread Wheat and Tolerance Screening of Synthetic Derivatives ○Michael Itam¹⁾, Sachiko

Matsunaga2, Ryosuke Mega3, Yuji Yamasaki3, Izzat Tahir4, Hisashi Tsujimoto3, 1Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University, 2Graduate School of Sustainability science, Tottori University. 3Arid Land Research Center, Tottori University, 4Agricultural Research Corporation, Sudan

【P19】「出雲おろち大根」根部着色新系統の育成と形質評価 榊川貴紀¹⁾ ○中務明²⁾・小林伸雄²⁾(1)鳥取大院連合農学研究科、2)鳥根大生物資源科学部)

【P20】日本のオオムギ品種間交雑に由来する2分離集団を用いた出穂期関連遺伝子の解析 ○西田英隆¹⁾・横田真吾¹⁾・金古卓磨¹⁾・青木恵美子²⁾・加藤鎌司¹⁾

【P21】DNAマーカーを用いたアワNEKODE1のマッピング ○西岡紀花¹⁾・榊本尚人¹⁾・高木宏樹²⁾³⁾・寺内良平²⁾⁴⁾・福永健二¹⁾(1)県立広島大生命環境学、2)岩手生物工学研究センター、3)石川県立大学、4)京都大学農学研究科)

【P22】Iso-Seqを利用したサツマイモの高精度な完全長cDNA配列の構築 ○小野菜奈¹⁾・牛島幸一郎¹⁾・田淵宏朗²⁾・田原誠¹⁾・門田有希¹⁾(1)岡山大院環境生命科学、2)九沖農研)

【P23】Production of interspecific hybrids between melon and wild species of Cucumis ○Mst. Naznin Pervin¹⁾, Tran Phuong Dung¹⁾, Gentaro Shigita¹⁾, Tomoko Ishikawa²⁾, Katsunori Tanaka³⁾, Hidetaka Nishida¹⁾, Kenji Kato¹⁾(1)Grad. Sch. Environ. Life Sci., Okayama U., 2)Ibaraki Agricultural Center, Plant-Biotechnology Institute, 3)Fac. Agr. Life Sci., Hirosaki U.)

【P24】コムギ育種系統「超極早生」が保有する新規早生遺伝子が出穂期関連遺伝子の発現に及ぼす影響 ○佐藤日向子¹⁾・増田春花¹⁾・西田英隆¹⁾・水野信之²⁾・那須田周平²⁾・藤田雅也³⁾・加藤鎌司¹⁾(1)岡山大院環境生命、2)京都大院農、3)農研機構・作物開発センター)

【P25】青色光による葉老化制御機構の解析 ○下野起将、小塚俊明、井上良平、草場信(広島大・院・理)

【P26】形態形成に影響を及ぼす新規短い遺伝子の網羅的な探索 ○武田智之¹⁾・金有王¹⁾・樋口美栄子²⁾・大林祝¹⁾・岡本昌憲³⁾・清水みなみ²⁾・吉積毅²⁾・中南健太郎²⁾・仁志蘭子²⁾・篠崎一雄²⁾・関原明²⁾・松井南²⁾・花田耕介¹⁾²⁾(1九州工業大学、2理研・CSRS、3宇都宮大学)

【P27】植物における新規ホルモン様ペプチドの探索 ○鳥居怜平¹⁾・金有王¹⁾・樋口美栄子²⁾・嶋田知生³⁾・深尾陽一朗⁴⁾・大林祝¹⁾・岡本昌憲⁵⁾・清水みなみ²⁾・田村麻美¹⁾・吉積毅²⁾・中南健太郎²⁾・仁志蘭子²⁾・関原明²⁾・篠崎一雄²⁾・松井南²⁾・花田耕介¹⁾²⁾(1九州工業大学、2理化学研究所、3京都大学、4立命館大学、5鳥取大学)

【P28】エチレンとストリゴラクトンの2段階制御を介した葉老化促進 ○上田浩晶¹⁾²⁾・草場信¹⁾(1)広島大・院・理、2)日本学術振興会)

【P29】アフリカ・ボツワナ共和国における油糧植物ジャトロファの分子遺伝学的解析 ○上野山遼¹⁾・七里吉彦¹⁾²⁾・Gwafila Chiyapo³⁾・甲斐政親¹⁾・石本雄大¹⁾・難波栄二¹⁾・Charles Mazereku³⁾・明石欣也¹⁾(1)鳥取大、2)森林総研、3)ボツワナ農務省)

【P30】イネ stay-green 遺伝子 DYE1 の単離と機能解析 ○山谷浩史¹⁾・上妻馨梨¹⁾・中野道治¹⁾・林依子²⁾・高見常明³⁾・加藤裕介³⁾・門田有希⁴⁾・熊丸敏博⁵⁾・奥本裕⁶⁾・田中歩⁷⁾・阿部知子²⁾・坂本亘³⁾・草場信¹⁾(1)広島大・院・理、2)理研仁科センター、3)岡山大資源植物研究所、4)岡山大・院・環境生命科学、5)九州大学・院・農、6)京都大学・院・農、7)北海道大学・低温科学研究所)

【P31】小麦粉生地を強める高分子量グルテニンサブユニット遺伝子を含む *Thinopyrum elongatum* 染色体 1E 長腕部分領域のジェノタイプと雄性側伝達率 ○安原悠¹⁾・林奈津子²⁾・赤松紗也加²⁾・田中裕之²⁾(1)鳥取大院持、2)鳥取大農)

【P32】オオムギ 2H 染色体に座乗する新規早生 QTL が遺伝子発現に及ぼす影響の網羅的解析 ○横田真吾・田部涼太・西田英隆・加藤鎌司(岡山大院環境生命)

